

2019年度供給計画の概要

当社は、2019年度から2023年度までの5カ年の供給計画を策定いたしました。

1. はじめに

日本経済は、政府や日銀の各種政策の効果もあり、企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなど、このところ緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、中国や欧州など海外経済の減速や金融資本市場の変動の影響に対する懸念から、依然先行きは不透明な状況にあります。

一方ガス業界は小売全面自由化から2年が経過し、改革の目的である「お客さまの選択肢拡大」に向け、業界全体がかつてないスピードで前進しております。今後もお客さまから信頼され選択され続けるために、今まで以上にお客さまのニーズをつかみ、それに応えるべく適切に対応してまいります。

2018年度の当社の状況といたしましては、都市ガスの普及拡大に取り組むとともに、経年ガス管入替、安全型ガス機器の普及拡大等、将来に向けた強固な事業基盤を築き上げる施策も着実に展開してまいりました。そして昨年4月には柏崎市からガス事業を譲受け、また今年2月には、見附市ガス事業譲受けの優先交渉権者に選定されました。

2019年度の設備投資（一般ガス導管事業）につきましても、ガスの供給安定性向上と需要維持・拡大に資する観点から案件を精査し、4,968百万円の計画を策定いたしました。当社を取り巻く厳しい状況を踏まえながらも、将来を見据えて必要不可欠な案件には積極的に投資してまいります。

2. ガス需給計画

お客さま件数については、2023年度414,111件を見込んでおり、ガス販売量については、2023年度412,877千m³を計画しております。

(単位：45MJ、千m³)

	2018年度 (見込)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
お客さま件数(年度末)	406,155	408,030	409,819	411,283	412,697	414,111
ガス販売量(千m ³)	387,278	418,905	418,299	416,546	414,711	412,877

3. 導管設備計画

導管設備については、2023年度末時点の総延長を5,848kmと見込んでおります。

(単位：km)

	2018年度 (見込)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
導管総延長(年度末)	5,773	5,792	5,811	5,822	5,831	5,848

4. 設備投資計画（一般ガス導管事業）

設備投資については、2019年度は4,968百万円を計画し、本期間中、5年間総額では22,500百万円を計画しております。

(単位：百万円)

	2018年度 (見込)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
設備投資額	4,370	4,968	5,000	4,307	4,127	4,098